

## 夢のナガシマ新聞

一班

私たちは七月二十六日、ナガシマスパランドさんへ行き、ブロック長の横山誠彦さんとオペレーター磯和りんさんにインタビューをしました。ナガシマスパランドは長島観光開発株式会社の数ある事業の一つで遊園地の運営になります。ナガシマリゾートには年間一千万人以上の入場者がいるそうです。季節的には夏が一番多く、五万人の来場客が来たこともあったそうです。

### 仕事内容

一番多いのがアトラクションのオペレーター業務。機械の運転や点検で不具合がないかを調べています。オペレーター以外にも、シヨップのレジ係やプールの監視員などの仕事もあります。日によって持ち場が変化することがあるそうです。常にお客様の安全やどのようなしたら楽しんでもらえるか常に考えながら仕事を行っているそうです。

### なぜこの仕事に就こう

#### と思ったか???

磯和さんはかつて無理やり友達に白鯨に乗らされたことがあり怖がっていたら、一人のスタッフさんが明るく接してもらえ、また、周りの人も楽しんでいてスタッフの人たちがお客さんに手を振ったりしていいいな、楽しそうではないなと思ったからこの仕事に就いたそうです。

### 仕事をしていて大変なこと

屋外での業務が基本なので、夏の暑さや冬の寒さが大変。スポットクーラーを使用したり暖房をかけたたりして何とか凌いでいるとのこと。加えて様々なお客さんの対応が大変だそうです。



<https://www.nagashima-onsen.co.jp/pool/>



[https://www.nagashima-onsen.co.jp/spaland/restaurant/\\_1357.html](https://www.nagashima-onsen.co.jp/spaland/restaurant/_1357.html)

### 会社の理念

ナガシマスパランドはサービースに力を入れていくそうです。例えば安全、清潔、手を振ったりすることを心がけているそうです。それに乗る物が混んでいる時などは並んでいるお客さんに注意喚起などをしているそうです。その中で一番大切にしていることは、安全とのこと。お客様の安全が最重要であることはもちろんのことですが、自分自身の安全の確保も重要とのこと。お客様に安全性をアピールし、感じてもらうことを大切にしているそうです。また、ナガシマスパランドには外国から来てくださったお客さんが多いので、外国の方にも安心して遊園地を楽しんでもらうために、スタッフによるスムーズな遊園地案内や対人コミュニケーションを出来ることが重要と考え、磯和さんは日々英語や韓国語の勉強を頑張っているそうです。

### 編集後記

創業以来愛されるナガシマスパランドで取材して、仕事内容や、お客様の安全やどのようにしたら楽しんでもらえるか常に考えながら仕事をしている従業員の方々の思いを知ることができました。取材が終わった後、スタッフの皆さんが牧場でバンバンと白鯨で遊ばせてくださいました。そのうえ、スタッフの皆さんが私達に本当に親切で優しく、笑顔で接してくださったのでとても楽しい時間を過ごすことができ、嬉しかったです。またナガシマスパランドに遊びに行きたいなと思いました。



↑笑顔いっぱいのスタッフの皆さん😊😊  
右が磯和さん、真ん中が横山さんです!!

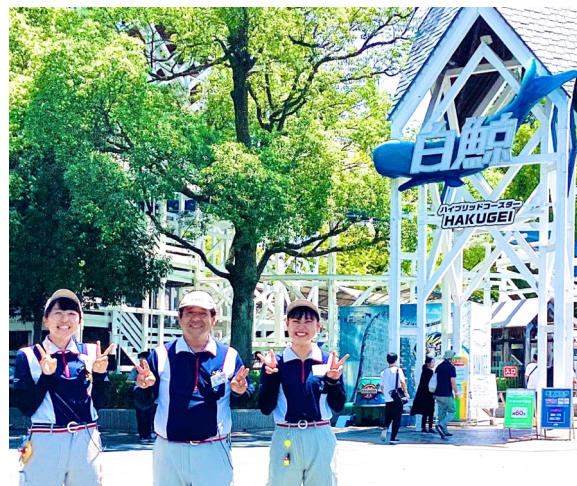
# 笑顔新聞 二班

# お客様を笑顔に

私達は七月二十六日にナガシマスパーランドに訪問し、ブロック長の横山さんとオペレーター磯和さんにお話を伺いました。

## 仕事の内容

磯和さん達オペレーターの仕事は、朝、アトラクションの動作の点検や、乗り物の不具合を確認することだけでなく、シヨップのレジ担当をしたり様々な仕事をされているそうです。出勤時間は毎日の入場者数によって変わり、コロナ後は年間一千万人程度で七時半出勤、早い人だと六時半だそうで、コロナ前の五万人もの入場者がいた時は、五時半出勤ということもあったそうです。



▲右・磯和さん 中央・横山さん

## 白鯨への思い

磯和さんが何故オペレーターとしてナガシマスパーランドで働こうと思ったのかというと、かつて、磯和さんがナガシマスパーランドに来た時に友達と白鯨に乗ろうとしていたそうです。しかし、その時は絶叫系が苦手である乗る勇気が無かったのだそうです。そこに白鯨のスタッフさんが話しかけて来てくれて勇気をくれたのだそうです。そのスタッフさんのように、周りの人を笑顔にできる職業に就きたいと思ったそうです。今でもそのスタッフさんを憶えている、と笑顔でおっしゃってくださいました。



▲世界最大級の白鯨

## 嬉しかった事

待ち時間の長い乗り物に並んでいるお客様に話しかけると会話が始まり、楽しかったのが年パスまで買っていただいたことがあったそうです。二週間に一度来てくれることもあったことが嬉しかったとかがありました。

そしてもちろん、お客様が笑顔になってくれることが何より嬉しいとお話してくださいました。

## 混雑時の対処法

混雑している日は開園時間を早めたり、係を増やし、お客様と喋るなど、多くの仕事をこなされています。

## 大変なこと

天候に左右されることだとおっしゃっていました。夏は暑く、秋は落ち葉の掃除が大変だそうです。



<https://www.nagashima-onsen.co.jp/spaland/>

## 会社の理念

お客様が喜んでくれる顔を見たいという思いで頑張っているお二人は、安全とサービス精神が会社の理念だと話してくださいました。

安全性をお客様に伝えるためには、「見せる安全」と「所作の安全」を行うとおっしゃっていました。これは、声だけでなく動作にも表すことで、相手に安心してもらおうためです。日本のお客様だけでなく、外国の方でも安全に楽しめるよう、外国語の勉強にも取り組まれているそうです。おもてなしをすることも忘れずにみんなが楽しめるようにしてくださいます。

## 編集後記

お話を伺った後、話題の白鯨に乗らせていただきました。スリル満載で、今まで感じたことのないような空を飛んでいる感覚になりました。観覧車にも乗せていただき、高い所からナガシマスパーランドの全体を見渡すことができ、とてもいい思い出になりました。

# 操る喜びで、チャレンジをしてもらおう鈴鹿サーキット

## 68期サーキット新聞

三班



↑取材をしている様子

私たちは八月九日に鈴鹿サーキットの総務課の大塚さんにインタビューへ伺いました。鈴鹿サーキットを選んだ理由は、幼い頃からたくさん遊びに行っていたからです。鈴鹿サーキットにはバイクのレースやF1などのモータースポーツ観戦と他に、自ら運転ができる乗り物やスリル満点な乗り物があるアミューズメントパークの二種類があるそうです。

### 主な仕事の内容

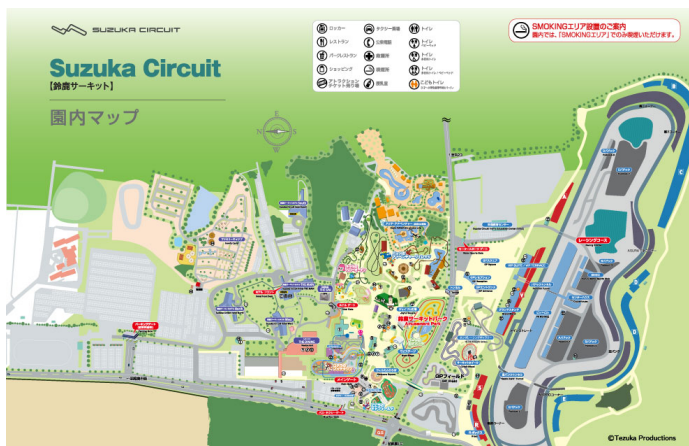
仕事の内容は、全部で四つに分かれており、「モータースポーツ」、「パーク」、「リゾート」、「交通教育」に分かれています。主に力を入れているのは交通教育で、大人の運転や白バイ、パトロール、一般企業への安全運転指導などの様々なことが行われています。

### 働く中で大切にしていること

アトラクションを作る上でこだわっているところは、環境に良く、安全で、みんなを楽しませれるアトラクションを作ることだそうです。鈴鹿サーキットは「モビリティ文化」という言葉を大切にしているようで、その意味とは「喜び」「楽しさ」「感動」といった意味を含んでいます。働いている皆さんはそれを大切にしているとの事です。

### 新アトラクションの開発について

鈴鹿サーキットでは一年又は二年に一回ほどの頻度で新アトラクションができています。一番最近できたものでいうと、ポダジエンヌです。新しいアトラクションを作るときにはプロジェクトが開かれるそうです。そこでアトラクションのデザインや形などを決め、作り始めるそうです。一つのアトラクションを建築する期間は大体夏から秋と、割と早くに建て終わるそうです。このように、年内には必ず終わるようになっているそうです。



↑サーキット園内のマップ

### 人気アトラクション

鈴鹿サーキットさんが推しているパークはバイクエリアだそうです。バイクエリアには自分達で運転する乗り物が多くあります。

鈴鹿サーキットが大切にしている言葉「操る喜びでチャレンジをもらう」この言葉にはもし失敗しても、もう一度チャレンジをしてできるようになれば、喜びを持つ人が増えるという意味が込められているそうです。だからチャレンジすることをより多くの人にしてもらいたいという意味が込められているそうです。

### 世界中から大人気のF1

F1はモータースポーツ界の頂点とも言われており、世界最高のドライバース。世界最高のマシンが集められるそうです。F1の日には世界中から約十万人の人が鈴鹿サーキットを訪れ、観戦します。



↑空から撮った鈴鹿サーキット園内

# ヨゼフ新聞

四班

私たちは七月二五日に亀山西小学校区児童クラブおひさまの豊田さんに仕事の内容ややりがいを聞いた。

おひさまは二〇〇九年四月十日に開設され、現在四人の指導員と児童女子一五人男子二人の合計三十八人が在籍中だ。

## 楽しみな年中行事

おひさまには年中行事が多く、年に二回開催される誕生日会、三月の卒所式、四月の一年生の歓迎会など立て続けにあるためこの時期は一番忙しい。年中行事では、お弁当を注文し、おやつにはミスタードーナツを買い、おひさま定番のゲーム「カレーゲーム」の景品が筆箱などの豪華なものになるので児童たちにとって楽しみな行事となっている。

## 学童の先生の大変さ

亀山西小学校区児童クラブおひさまの職員の仕事内容は、子供達の遊びや学習などを監督・支援をして、学校後の時間を有意義に過ごし、安全で快適な環境を提供することである。

その他におやつ選びや登所チェック、うがい手洗いの励行、日誌、各行事決め、日々の掃除、保護者対応など沢山ある。その中でも最も大変なのは、「子供たちの様々な要望に応えることや子供同士の喧嘩・トラブル対応、ケガの対応、保護者とのコミュニケーション」と言っていた。



↑先生と児童が遊んでいる様子

## 大切にしていること

大切にしていることは子どもたちの「安全と健康を第一に」と言っていた。小学一年生から六年生まで一人ひとりの成長・発達を支援し、その子どもたち各々の感情や個性を理解すること。他にも子供の笑顔を見ることがやがや子供の成長を見守ることがやりがいになっていたり、子供たちと接することで自分自身も新たな視点やスキルを学び、成長する機会になると話していた。



↑アイスをいただきました！

## 編集後記

実際学童に行ってみて先生が二、三人と少ない中で、三十人以上を見ていたことが、みんなの遊び相手をしたり、ダメなことをしたらちゃんと怒ったり、色々なことをしていた。二、三人しかないのに、全員が楽しく、過ごしやすい環境で居られるようにという先生たちの工夫が詰っていた。みんなの声のボリュームが大きくて、「静かにしてください」と先生たちが言う時が多かったけど、みんな元気いっぱいだったし、友達とも楽しく遊んでいた。



↑みんなと一緒に遊んでいる様子

# 津医療新聞

五班

## 藤原さんのお話

私たちは津市の三重中央医療センターに伺いました。そこで看護師長の藤原京子さんに一日の仕事内容を聞きました。藤原さんは主にスタッフや先生達をマネージメントする事や患者さんが過ごしやすいように工夫することです。そんな藤原さんの仕事は患者の状態を把握することから始まります。そしてスタッフとのスケジュール共有や他部署との調整、新しい患者への挨拶などで午前中はあっという間に過ぎています。午後からは会議などが多く、四時から当直師長との打ち合わせなどがあります。

## 学生時代と働いていて嬉しかったこと

私たちは藤原さんの看護学生時代について教えて頂きました。藤原さんは「看護学生時代やりたいこと、学びたいことが多くすごく楽しく、自分の財産になった」とおっしゃっていました。

志しはみんな同じで、看護学生時代の同期は宝物だそうです。なりたいたい仕事になるには必死に勉強し、乗り越えた時の満足感を思い出して自分の自信に繋げることが大切だともおっしゃっていました。

そして、藤原さんが看護師をしていて嬉しかったことは、「看護師のライセンスをとって現場に行くと学生扱いでなく、看護師として働けること」や、「患者さんからありがたいと言われたり、頼られること」が特に

## ↓病院の外観



やりがいを感じたそうです。

さらに「スタッフが元気で前向きであるところを見るのも日々の嬉しいこと」とおっしゃっていました。自分だけでなく周りのスタッフの方々にも気を配られていて、患者さんだけでなくスタッフの方々からも感謝されることも嬉しいそうです。そのほかにも嬉しかったことを熱意を持って書ききれないほど話してくださりました。

## 患者さんと接する上で

藤原さんが患者さんと接する上で気をつけている事は「患者さんの思いを聞かせてもらう事」です。家と病院は違うので、その人らしく病院を過ごして欲しいと話していました。そのためにも互いの気持ちをくみ取り合い、かつその人の家族の考えにもそって患者さんと接しています。

## ↓病院の入り口



生まれた瞬間から今まで病院にかった事が無いという人はいないと思います。  
 私達はその身近な病院の中でも医師の仕事について興味を持ち、三重大学医学部附属病院心臓血管外科の別所先生にお話を伺う

## 医師の気になる仕事の詳細

事になりました。  
 何故、心臓血管外科なのかというと心臓はいつもドクドクと動いているのを感じているし、いきるために一番大切な臓器だと思ったからです。心臓血管外科は先天性または後天性疾患に対応したり、大動脈解離や大動脈瘤に対して手術を行い、また心筋梗塞等に対するバイパス手術を行う診療科です。命に直結する診療科です。

心臓外科を担当されている  
 別所先生と三重大学病院の  
 マスコットキャラクターミーベくん



大学附属病院に勤める医師は、診療の他に論文を執筆し発表をする事もあります。今回は診療についてお聞きしました。先生は10年目くらいですが、手術をする時は予習が必要です。様々な仕事をしていると先生の睡眠時間は3時間くらいしか取れずそれだけストイックに仕事に向き合っても、人の命を扱うだけに、今でも手術は緊張するそうです。大体手術時間は4から8時間くらいかかるものが多いという事なので、医学の知識、手術の予習そして、

体力もかなり大事だという事でした。最後に、女性の医師が増えてきているとはいえまだまだ少ないのが現状で、女性医師が増えてくると良いなと考えているとおっしゃっていました。

### 医師を志したきっかけとは

先生が医師になりたいと思ったきっかけは、祖父が食道癌にかかったことです。小学生だったので何も分からなかったが、分からないなりに自分出来ることはなにかと考えていました。

また、祖母も関節リウマチで当時は薬しか治療法が無く、もどかしい思いをされていました。だから、祖父は間に合わなかったけれど、祖母やご両親がその様な状況になったときには現場で立ち会い、自分の手で助けたいという強い思いがありました。

### 先生からのミニ情報

聴診器で心臓の音を聞いてもらう時は・・  
 雑音を入れずしっかり聴いてもらうために

- 一 喋らない
  - 二 呼吸はテンポ良く
- とのことです。

### 「編集後記」

お話を伺った先生は三重県で生まれ育ち、また妹さんがヨゼフの先輩と知り、とても親しみを持ってお話を聞くことができました。医師の仕事の大変さ、やり甲斐を知ることができ、身近にこの様な医師達がいることはとても心強いと思いました。

# 保育園新聞

7班

私たちは、津市の久居保育園に勤めている職員三十四人のうち三名の保育士の先生方に、日頃の園児たちの様子や、先生たちの行動をインタビューしました。

タイミングが悪く、お昼寝中の園児達しか見れなくて残念でしたが、私たちは事前に保育士をしていて良かったと思うことや、大変だと思うことなどをまとめ、三名の保育士の先生方に質問に沢山答えて頂きました。

## 久居保育園の魅力

人生のはじめの一步となる保育園は愛で満ち溢れた場所でありたいと保育園の先生方は日頃からそう考えているとおっしゃっていました。他には、どの先生も自分のクラスだけじゃなく、他のクラスの子供達とも関わって保育できているところだとおっしゃっていました。

## 保育士さんの質問の答えは???

保育士をしていて良かったと思うことを三名の先生方にお聞きしたところ、山野智先生は子供達が遊んでいる時の笑顔や、「先生」って寄ってきてくれた時だそうです。子供達から楽しかったと言ってくれた時、子供達の成長が見れた時に保育士をしていて良かったと思うそうです。また、保育士という職業をしていて大変だと思ふことは、何をしようとしているのかを考えている子供達の心を読み取って行動することが大変だとおっしゃっていました。その他に、子供達が何を考えているかわからない時や、やったことがないことに挑戦する時が大変だと仰っていました。

## この仕事に就こうと思っただきっかけ

保育士の皆さんがこの仕事に就こうと思っただきっかけは、昔、保育園に通っていた頃に「保育園の先生」に憧れを持ちたり、子供の頃に先生の姿が美しく見えたからなどが多かったです。

## 保育士の先生にインタビューをしている様子



左から  
杉本妃里先生、山野智有希先生、田名瀬敏子先生

## 編集後記

保育士の皆さんは、自分が笑顔じゃないと子供達も暗い気持ちになってしまうから、いつでも笑顔を絶やさずに保育をしているとおっしゃっていました。人は誰でも気持ちが上がらない時もあると思いますが、それでも毎日園児のことも考え、自分自身も笑顔を忘れずに保育をするのは、とても大変なことなのではないかなと思いました。

## 久居保育園の様子



# 八班おやつカンパニー新聞

八班

八月二日に、おやつカンパニーに伺い、人事総務部人事課リーダーの嶋崎康真さんに会社の組織構成・ベビースターラーメンの誕生秘話についてお聞きしました。

おやつカンパニーの工場も見学しました。



## 仕事内容

商品の企画、研究開発、製造、販売を行う部門とそれを支える管理部門で構成されており、より良い商品を提供をしているそうです。

また、全部門のチームワークが良く、社員さんは「幅広い世代からおいしく食べてもらいたい!!・もっと良い商品をお客様に届けたい!!」と言う想いを共有し一致団結し日々仕事をしているそうです。

## ベビースターラーメンの誕生秘話

ベビースターラーメンは一九五九年にできました。戦争時に疎開してきた子供たちを笑顔にしたかったからなんです。乾燥させた麺に味付けしてたくさんの人にくばりおいしうと言ってもらったのが始まりだそうです。

そして、おやつカンパニーのお菓子は百人中九十人が「知っている」・「食べたことがある」と答えたくらい人気で、多くの人から支持を得ているそうです。

## 嶋崎さんに

### 質問してみた★

#### 人気になった理由

スナック菓子にも流行りがあるので、常にその流行りに乗って変化しているからだそうです。また、常に新しい商品を開発しているからだそうです。

#### 会社名の由来

シンプルに誰でも分かるようにおやつカンパニーという名前になったそうです。

#### 何を思って働かれているのか

お客様がお菓子を食べ、喜んでいる姿を想像して働かれています。

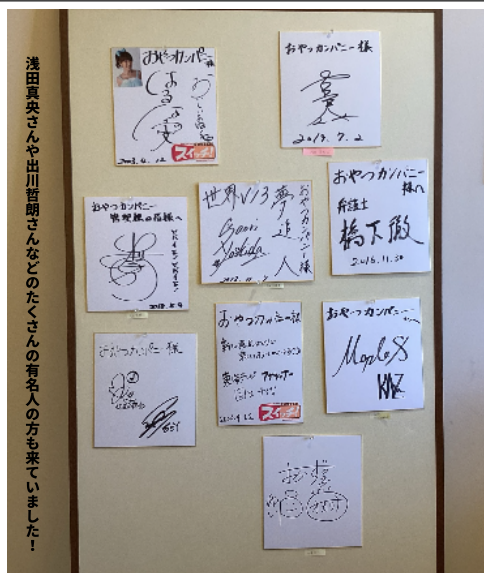


ベビースターのキャラクター  
ホシオくん

## 編集後記

おやつカンパニーで働いている方々が消費者の私たちがより笑顔になれるようなお菓子を作っていて、そのことを誇りに思っているということを知り、とても嬉しかったです。工場の見学をさせてもらった時に、その場で詳しく丁寧な説明をしていただき、とても勉強になりました。

帰り際にたくさんのお菓子をくださり、とても嬉しかったです。中身は私たちの大好きなベビースターラーメンとブタメンが入っていました。嶋崎さんのお母様がセントヨゼフ出身ということをお聞きしてとても驚きました。とても親切な対応をして頂いた嶋崎さんのお陰で楽しくインタビューをすることができました。





# サーティワンの人気の秘密にせまる！

私たちは、七月二十九日、サーティワンアイス クリームイオンモール津南店（以下サーティワン）にて店員の甲斐さんに変な作業、人気のフ レーバーなどについてお話をうかがった。

## 体力を使う霜の掃除

主な仕事の内容はお客様からアイスの注文を聞き できる限り早くアイスを提供することだ。

この仕事で大変な作業は、アイスの容器の掃除 だ。アイスが入っている容器には霜がたまってし まう。そのため週に二回ほど容器からアイスを取り 出しストッカーと呼ばれる冷凍庫に入れ、空の 容器を店舗の裏側にあるコンテナに入れ水をぬ く。その後容器にアイスを入れ直しようやく作業 が終了する。アイスはとても重たいため体力を使 い、一回の掃除にかなり時間がかかるのだ。



↑取材に応じてくださった甲斐さん

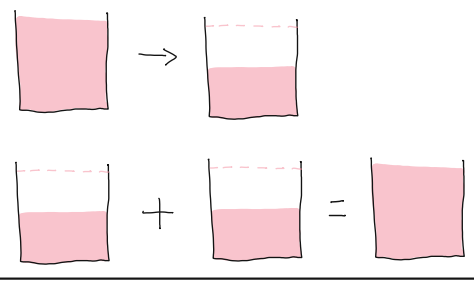
## 入れるのは固いアイスから

基本的にアイスには消費期限がない。販売してい るアイスが容器の半分になったら新しいアイスと交換 し、そのアイスも半分になったら二つを合わせ販売 する。そのためアイスが余ることはない。

複数のアイスを提供する際に気をつけていること は固いアイスから入れることだ。ソルベやチョコな どの柔らかいアイスは溶けやすいため提供する直前 に入れないと提供するときにはべちゃっとなってし まう。そのため提供するアイスの数が多いほど、綺麗 な状態で早く提供することが重要になってくるのだ。

## 人気の秘密は「割合」に

サーティワンで大人気のフレーバーである「チョコレ ートミント」は他社のアイスクリームと少し違いが ある。それは強すぎないミント味だ。サーティワンの チョコレートミントは、チョコレート割合が多 くミントの割合が少ない。口いっぱい広がるチョコ レートの甘みとほんのりと香るミントの風味のバ ランスが絶妙で、ミントが苦手な方からも食べやす く人気がある。普通のチョコレートミントは苦手だ けどサーティワンのチョコレートミントは食べられ るという人も多い。



↑アイスの交換の仕組み

## 甲斐さんのやりがい

お客様にアイスを見て「かわい い」「美味しそう」と思ってもらえることが甲斐 さんにとってのこの仕事の やりがいだ。

## 天候や曜日が売れ行きの鍵

アイスの売れ具合は日によって違いがある。土 日祝は休日のため客が多い。キャラクターとのコ ラボレーション期間は対象商品が人気だ。また暑 い日にはシャーベット系、雨の日や寒い日にはチ ョコレート系のアイスがよく売れる。普段は曜日 や天気によってある程度売れ行きが推測できる が、好きなアイスを最大十個注文できる「よくば りフェス」が行われていた期間は売れの読みが難 しかった。よくばりフェスは一昨年から開催され ているが今年はSNSでの反響がかなり大きくとも 人気なイベントだった。

## 編集後記

アイスをすくったり容器の掃除をしたりと体力を使 う大変な仕事だけど、それを感じさせない接客が女 の子の憧れの職業と言われるゆえんなのかなと思っ た。



↑サーティワンアイスクリームイオンモール津南店

### 幼稚園の朝は笑顔から

元気な園児たちが出迎える、ここは津駅の裏にある大川幼稚園。だが、園児たちの笑顔の裏には先生方のたゆまぬ努力と、とても温かい愛情が溢れている。

朝、七時半から園が開く。早朝保育担当の先生はその前に園に向かい準備をする。八時半ごろに園のバスが到着し、元気いっぱい挨拶と共に一日が始まっていく。

私たちが訪問しに行った日の午前の主活動はプール遊びだった。先生方は園児たちを見守りつつも、注意を怠らず、安全に配慮していた。

### プールが終わると…

十一時半、楽しいご飯の時間だ。すでに先生は先に机の準備に取り掛かっていた。お弁当の時間は何人かのグループに分かれ、私たちも一緒に食べた。園児たちの食べるスピードが異なるため先生たちは一人一人のペースに合わせ、最後まで園児たちを見守り、支えていた。園児たちが全員お弁当を食べ終わると先生はささっと机を拭き、片付けた。

食後は、お昼寝の時間だ。お昼寝の前にトイレに行く園児たちに私たちもついていった。トイレから帰ってくると、もうお昼寝の準備がされていた。園児たちを寝かしつけるためにとんとんをした。すると、さっきまでの園児たちの元気な声が嘘のように、一気に教室が静まっていった。私たちは、唯一先生たちが園児と触れ合うことのない、この時間にインタビューをした。



元気にプールで遊ぶ園児たち

### 先生たちの仕事に対しての想い

私たちは、川口先生、島川先生、藤田先生、関先生の四人の先生方にお話を伺った。

#### 幼稚園の先生になっただけの想い

- ・子供が好き
- ・自身の年長の時の記憶が印象的
- ・憧れた

#### 何を大切に働いているか？

- ・子供の気持ちに寄り添うこと
- ・小さくても一人の人間として接する
- ・やりたいことを大切に
- ・意思の尊重

#### 幼稚園の先生をしていて、良かったと思うことは？

- ・子供の成長を目の前で感じられる
- ・達成感を一緒に味わえる
- ↓他の先生と分かち合える
- ・行事当日になり努力が報われる
- ↓やりがいを感じる
- ・最も大変なことは何か？
- ・クラス単位で行われる行事の準備

#### 幼稚園の先生をしていて変わったことは？

- ・人と関わるのが楽しく、好きになった
- ・相手のことを考えられるようになった

#### 仕事で一番こだわっていることは？

- ・大人の気持ちで行動せず、子供目線で考える
- ・いつも元気にいる！ 休まない

### 国語力を大事にする大川幼稚園

最後に、大川幼稚園独自の教育方針について教えていただいた。「まずは人として『ダメなことはダメ』としっかり教えることを大切にしている」

「次に、教育として国語力を大切に、正しく流暢な日本語を教える」



インタビューを受けてくださった先生方  
左から  
川口先生、島川先生、藤田先生、関先生

### これからの大川幼稚園

今の大川幼稚園のアウトホームな感じを保ち、卒園した園児がまた来たいと思える幼稚園にしていきたいと先生たちは語った。

### 編集後記

幼稚園の先生方の仕事を実際に体験し、責任を持つ大切さを改めて感じることで、責任ある行動をしたと思う。また、毎日園児たちを見守る先生方は本当にすごいと感じた。今まで幼稚園の先生側の視点で見たことがあまりなかったため、意外な発見もでき、先生方の子供達に対する深い愛情にとっても感動した。職場体験をしたことで改めて先生の偉大さを認識した。先生方の園児に対する優しい想いや考え方を知り、インタビューを聞いているこちらまで心が温かくなった。



今回職場体験をさせていただいた大川幼稚園



# ハツ波製パンの”パンどは？

11班

## ハツ波製パンと

## ヨゼフ生

私たちの通うセントヨゼフ女子学園には、いつもみんなが美味しそうに食べているパンがパン売り場で売られている。津市にある「ハツ波製パン」のパンを求め三限目が終わればすぐに行列ができており、セントヨゼフ女子学園の生徒たちに美味しいと好評である。私たちはその美味しいパンを作ってくださいているハツ波製パンを取材してきた。



↑歴史のある「ハツ波製パン」の建物

### パンを作る工程

- 一 パンを作る工程を取材した。パンの材料を混ぜ合わせ生地をつくる
  - 二 生地をこねる
  - 三 生地を一時間ほど寝かせる
  - 四 生地を分割する
  - 五 いろんな形に整える
  - 六 生地を発酵させる
  - 七 こんがり美味しく焼き上げる
- この工程に時間がかかるため毎朝一時に起きて定休日の土曜日以外に行っている。

### パンの美味しさの秘訣

パンを美味しくするための秘訣を聞いた。一つ目は、パンの気持ちになること。パンが傷つかないように優しくこねる。二つ目は、美味しくなるように心を込めて作ることだ。美味しくなれとおまじないをかけ、心を込めてこねる。三つ目は、温度を調節することだ。パンによって温度が違うため適切な温度にすることが美味しいパンを作るための秘訣になる。私たちはいつも食べている美味しいパンには、作っている人の心がこもっているのだ。

## ハツ波製パンのベスト三

ハツ波製パンの人気のパンベスト三を取材してきた。

まず、三位はカレーパンである。学校で売られているカレーパンとは辛さが違い少し店内で売られているカレーパンの方が辛いと店主の奥さんはおっしゃっていた。二位はサンドイッチだ。ふわふわの食パンにハムとキャベツの食感が抜群にいいと評判だ。一位は学校でも売られている揚げパンだ。揚げパンには砂糖がたっぷりまぶしてあり、なめらかな甘さで噛むとジューツと柔らかい甘さが口の中いっぱいに広がることで評判だ。



明太子トルティーヤ  
サンドイッチ  
焼きそばパン

## ハツ波製パンの歴史

ハツ波製パンは戦後まもなく齋藤光則さんのおじいさんが開店した。店主の齋藤光則さんは現在三代目の店主だという。その当時、一番初めに作ったパンが食パンだ。そしてオープンして七十年もたった今、パンの種類は七十種類以上に増え色んな人々に愛されるパン屋となった。

### 編集後記

店主の齋藤光則さんらがたくさん質問を適切に答えてくださりとてもお話をさせていただき楽しかったです。お話のときには、店主の齋藤光則さんと奥さんの優しさ溢れる対応からこのお二人だからこそ私たちヨゼフ生や人々から愛される美味しいパンを作ることができると関心しました。

# 構内新聞 12班

津市半田1330  
〒514-0823

2024年 8月26日(月)  
(令和6年) 人権宣言記念日

職員募集中  
 憧れの職場で笑顔を送ってませんか?  
 〒514-0009 津駅 | 近畿日本鉄道  
 三重県津市羽所町

## 「子供達の憧れ」

近鉄津駅の中川助役(右)と西口駅長(左)は2日、本誌の職業インタビューに答えた。「大変だけど子供達の憧れ。今は女性も増えてきているから基盤はしっかりしている。」と述べ、将来の選択に迷う中学生にエールを送った。

## 近鉄津駅・助役と駅長に聞く



↑ 本誌のインタビューに答える近鉄津駅の中川助役(右)と西口駅長(左)



ホームに入ってくる『ひのとり』→

## 駅員の勤務予定表

駅ではたくさんの人々が忙しく動いているが、実際に何をしているかは不明な点が多いと思う。お二人に駅の1日のスケジュールを聞いてみた。

まず日勤。その中でも2組に分かれている。1組は9時から18時。別の1組が10時から19時まで、それぞれ9時間の勤務を行う。泊まり勤務の場合は朝9時から翌朝9時までの勤務につく。

## この仕事を選んだ理由

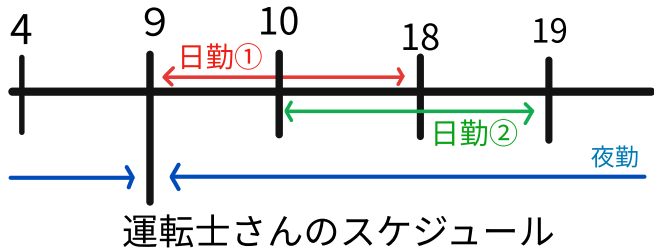
次になぜこの仕事を選んだかを聞いた。

中川さんは子供の頃から事務仕事をしたかったが、動かない仕事は割りに合わないと感じ、今のこの仕事に就いた。西口さんは乗り物が好きで、駅業務が乗務員になりたくて応募した。

そしてこの仕事をするにあたって何を大事にしているか。やはり、お客様の安全を一番に優先しているのだと言う。そのためにもお客様に親切にすることも忘れないようにしている。そして、明るい職場にしていきたい。そのためのコミュニケーションも大事にしている。

## 駅員に向いている人

駅員に向いている人の特徴は2つある。1つは、お客様対応ができることや積極的にコミュニケーションが取れる人だ。毎日の挨拶にインターホンの対応、構内で困っている方への声掛けなど、どれも駅員になるには大事なことだ。2つ目は、体力のある人だ。駅員の人達は私達が休みをとっている土曜日、日曜日でも駅を動かさないといけない。また、夜勤も多く一晩を駅で過ごす人もいる。お客様に毎日安全に乗車していただくには自己管理も大切だ。



運転士さんのスケジュール

そしてなんといつでも、電車が好きな人だ。「好きこそ物の上手なれ」と自分の興味のあることや得意なことを仕事にして欲しいと笑顔で語った。

### 《編集後記》

取材を受けている中川さんと西口さんは生き生きとした表情を浮かべていた。決して楽な仕事では無いが強いやり甲斐を感じている。2人は笑顔で述べた。老若男女全員の思いを背負って今日も電車は走っている。

私達は八月三日にWEGO津南店  
に行ってお話を伺いました。

そこで私たちはいつもどのような  
仕事をされているのかとこの仕事  
になぜ就こうと思ったのか、今ま  
での中で大変だった仕事はなに  
か、仕事では何を大切にされてい  
るのか、嬉しかったこと

について店長である利田さんと  
韓国系ファッションが好きと  
おっしゃっていたまりさんにイン  
タビューを伺ってきました。



話を聞かせていただいた店長の利田さん

### オシャレを楽しんでもらうため

お客さんのプライベートに直接  
関わる仕事をしていて、さらに  
オシャレを楽しんでいただき少  
しでも喜んでもらい、「来てよ  
かった」と思えるような仕事を  
されています。

### 自分の個性を活かし就職

利田さんは会社員のようなスー  
ツをまとうかたい仕事はあまり  
好きではなかったため自分の個  
性をだしていきたいからこの  
仕事に就いたそうです。

まりさんは服が好きでみんな  
にもっとオシャレを教えたい  
と感じ、色々な人を笑顔にし  
ていきたいとおもったからこ  
の仕事に就いたそうです。

### 今までの中で大変な仕事は

年末年始はお客さんが多くき  
てくださるので売れて嬉しい  
気持ちもありつつ、注文が増

えることで人手が足りなくなっ  
てしまったりお客さんの対応に追  
わたりなど色々な仕事があるた  
め体力が必要で年末年始の時期が  
一番大変だとおっしゃっていま  
した。



話を聞かせていただいた韓国系ファッションが  
好きなまりさん

### お客さんに笑顔になってもらうために

一番はお客さんに笑顔になってもら  
うことです。お客さんを第一に考え  
一緒にコーディネートをして「来て  
よかった」「また来たい」と思われ  
るように努力をされています。

また、店員さんの笑顔や挨拶など  
でお客さんを元気づけられるよう  
心がけています。実際に私達も丁寧  
に対応してくださったおかげで  
いい気持ちになり安心することが  
できました。

### 嬉しかったことは

利田さんもまりさんもお客さんと一緒  
にコーデを考えた時に「ありがとう」  
などの感謝をしてくださり一緒に考  
えてよかったなという嬉しい気持ちで溢  
れていたそうです。

### 教えて！WEGOの人気ファッション！！

ロストショルダーバッグ



ゲームプルオーバー

WEGOのファッションでは韓国系が  
人気ですが、その中でもロストショ  
ルダーバッグやダメージジーンズ、  
ゲームプルオーバーが好きの方が  
多いようです！他にもスマホショ  
ルダーやポロワンピースなどが人  
気です！



@WEGO\_KANSAI3

WEGO関西エリアのインスタグラムです。利  
田さんの目標はインスタグラムで沢山の人の  
知ってもらいWEGOに来てもらえるように盛  
り上げていきたいとおっしゃっていました。  
ぜひフォローしてください！

## 猫思いの保護猫カフェ 「かぎしっぽ」

私たちは、三重県松阪市にある「かぎしっぽ」に行きました。かぎしっぽのこだわりやカフェを始めた理由、仕事をしていて嬉しい瞬間などの質問を代表の関岡ナオミさんに答えてもらいました。

### 猫のことを第一に

関岡さんは猫の生態を理解し、猫がのびのびと過ごせる環境になるよう、基本的にケージを使わずに猫が自由に移動できるように工夫されています。そのため、猫たちは自由に寝ていたり、隠れていたり、座っていたりと、猫の普段のまったりと過ごしている様子がみられます。

また、かぎしっぽには三十三匹とたくさんの猫がいます。その全ての猫たちの体調管理はナオミさん一人で行っています。その理由について関岡さんは

「複数人で体調管理を行うとさじ加減があり、猫の体調不良にいち早く気づくことができない」と関岡さんは言いました。また、

一人で体調管理を行うとほんの少しの変化でも気がつくことができるそうです。利益も全て猫の餌代や、猫たちが快適に過ごせるためのクーラー代などに使っているそうです。これらは全て猫のため。関岡さんは猫の気持ちになり、猫のことを第一に考えていました。

### かわいそうな猫を減らしたい

関岡さんが保護猫カフェを始めた理由は、かわいそうな猫を少しでも減らすためだとおっしゃりました。かわいそうな猫とは、悪徳ブリーダーに動物としてではなく、商品として扱われ、育てはするものの勝手な都合で殺処分になってしまいうような猫のことです。ペットシヨップにいる猫たちもかわいそうな被害者だとおっしゃりました。

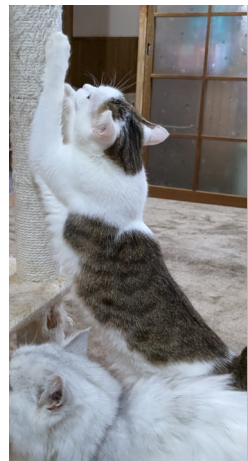
また、他の猫カフェやペットシヨップなどは猫のためでなく営利目的であることも保護猫カフェを始めた理由だそうです。

### 猫の幸せが嬉しい瞬間

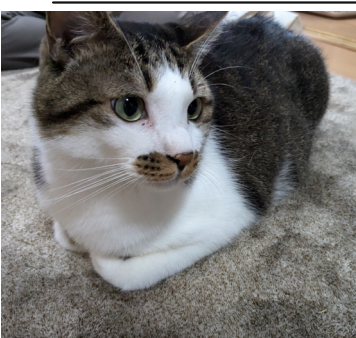
「この仕事をしていて嬉しいと感じる瞬間は」という質問に対して関岡さんは「猫が里親のもとで幸せそうに暮らす姿や、助けた猫が元気に過ごしている姿を見ると嬉しく感じます」と答えました。最初は人間に心を開いていなかったり、ボロボロでひどい状態の猫もいたけれど、猫の生態を理解し、猫たち

のことを第一に考え工夫することで、猫たちを元気にしていったとお話していました。

里親に猫をわたすときも常に猫が幸せになることを考え、里親になりたいという人と話していくなかで安心して渡せるのか、猫が里親もとで幸せになれるのか、などを慎重に判断するそうです。



爪を研いでいるヒヨリちゃん



かぎしっぽで元気に過ごす猫たち



私たちは愛知県の焼肉きんぐを取材しているテレビを見て、もっと焼肉きんぐが人気な理由が知りたくなり、八月七日に焼肉きんぐ松阪店の伊藤大賀店長に取材をさせていただきました。

## 焼肉きんぐで働いていて楽しいこととは？

まず、店長に、店長をしていて楽しいこと、従業員をしていて楽しいことの二つを教えてくださいました。

店長をしている上で楽しいことは、バイトの人たちに楽しいと言って貰えた時だそうです。店長自身は、バイトをしている人たちにせっかくだと働いてもらうからには楽しんでもらいたいという思いがあるそうで、楽しいと言って貰えると嬉しいそうです。

従業員をしていて楽しいことは、キッチンで働いている場合は、早く料理を作ることができた時や間違えずに料理を提供できた時だそうです。お客さんに美味しいと喜んで貰えた時にとてもやりがいを感じ、ホールの場合は直接お客さんに美味しいと喜んで貰えた時だとおっしゃっていました。

## 焼肉きんぐがいつも明るい雰囲気なのはなぜ？

明るい雰囲気なのはコンセプトがあるからだを教えていただきました。仕事で大事にしているのは「笑顔と元気」、会社の営業コンセプトは、「とびっきりの笑顔と心からの元気」だそうです。それらを実現させるために、コール&レスポンス大事にする事、接客では笑顔で場を盛り上げる事を心がけているそうです。とびっきりの笑顔とは誰かの笑顔につられて明るくなるような笑顔、心からの元気とはその元気で周りのみんなが元気になるような明るさだそうです。

伊藤店長は、「とびっきりの笑顔を全員に求めているけれど、全員ができなくともいい。その人の良いところを活かすようにしている。冷静に判断ができる人や、いつも明るく盛り上げてくれる人など、みんなの個性を大切にしている。」とおっしゃっていました。

## 焼肉きんぐで提供する時の工夫は？

焼肉キングでは、料理を作る人、その料理を提供する人、片付け、会計、お肉の焼き方や食べ方を取り締まっている焼肉ポリスなどと分業して働いているそうです。新しく入った従業員のの人たちには、特に商品を提供するときに、早く料理を運べるように席の場所を覚えて間違いないように提供するようにしてもらっているとおっしゃっていました。そして、人だけではなく、ロボットも料理を運んでいました。ロボットは、人や物を感知すると避けたり、止まったりして安全に提供できるように工夫されています。



→ 笑顔の素敵な伊藤大賀店長

# 六十八期十六班アキラ新聞

## 鳥羽水族館で

私たちは鳥羽水族館に行って、飼育員をしている若林郁夫さんに会い、水族館の裏側や若林さんについてのお話を伺った。

## 餌やりについて

全ての飼育している生き物で五十種以上の餌を使用し、毎日魚だけで四百キログラムも使用しているとのこと。また、餌やりには品質の良いものだけを使用している。

個体ごとに食べた物・量を記録し、毎日の食事のバランスを整えているそうだ。

冷凍の餌も使用しているが、冷凍の魚等に含まれるビタミンが減ってしまうため、ビタミン剤も使用すること。



生き物の餌

ビタミン剤  
(一粒頂きました)



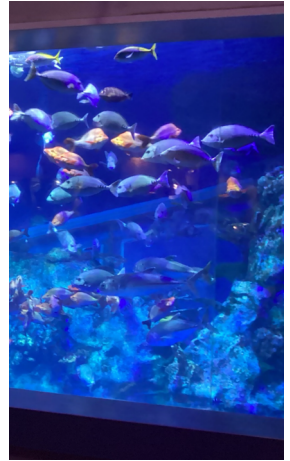
## 今の仕事を始めようと思ったきっかけ

若林さんは動物が大好きということが一番のきっかけで、自然保護のボランティア活動や自然と触れ合うことで段々と夢が膨らんだ。特にイルカとウミガメが好きで、動物に関する仕事に就きたいと考えるようになった。学生時代は水産学部で学び、たくさんの経験を積み重ねて今の職についた。

## 仕事のやりがい

若林さんの夢は、イルカを飼育する事に就くことだった。勉強をし、ボランティア活動も行い、やがて水族館の飼育員として籍を置いてからも様々な経験と努力を重ねた。そして現在、夢が叶った事で自信がついて、今や飼育員の仕事以外にも生物多様性の維持、地球温暖化について研究を行い、地域の自然の保全に貢献している。

鳥羽水族館で一番大きい水槽の様子



## 水族館内だけでなく

野生のイルカの生態も守るべく若林さんは、毎日出勤時に双眼鏡を待ち歩き鳥を観察しており、何月何日にどんな鳥がいたかを記録しているとのこと。

生き物の考えていることや気持ちなどは、その様子や表情でわかる。

例えば、オスがメスにプロポーズしている様子や、体調が悪そうなのが行動や表情で伝わったりする。そのためにはその動物を観察することが大事だと語られた。しかし、その動物の中の世界があり、どうしても人間が立ち入れない部分があるとのことだった。



若林さんと記念撮影

## 普段気になる水族館のギモンをぶつけてみた

質問一

飼育している生き物に与える餌は何か。

答え

野菜や魚、プランクトンなど。

質問二

ひとつの場所に複数匹いる生き物の名前はどのように覚えていくか。

答え

その生き物の特徴を覚えている。

例えば、ペンギンならお腹の柄、スナメリならおでこの形。

質問三

水槽の水の量は約何トンあるか。

答え

館内で一番大きい水槽だけで九百トン、館内全ての水槽では約五千トンある。

質問四

イルカはどのような性格をしているか。

答え

溫和、優しい

## 編集後記

私たちが水族館に行って海の生き物を見て学び、楽しめるのは、裏側で生き物の健康や餌の量・種類、水槽の温度管理などをしていく方々がいるからだということが実際に見てみることでよく感じることができた。



# 思い出のつまった私たちの幼稚園



暁の星こども園の園舎

## ヨゼフ新聞 十七班

日々、保育園や幼稚園で子供達の成長を見守る「保育教諭」。皆さんも通ったことのある人が多いのではないだろうか。今回、私たち三人が実際に通っていた暁の星こども園の園長、高橋かつ子先生にインタビューをさせていただきました。

### 『あいさつ』と『笑顔』を大切に

早くから入園することができ、暁の星こども園。ですから中には計六年間をここで過ごす園児もいます。たくさん成長があるから六歳までの子供たちと、どのようにしてコミュニケーションを取っているのでしょうか。

〇歳から一歳頃までは、言葉の習得の時期なので、たくさん言葉の好刺激を意識し子供達の心に寄り添い過ごしているそうです。だんだん成長するにつれて自分の気持ちを言葉で表現できるようにになるので、それぞれの年齢に合わせてコミュニケーションの取り方を工夫しているそうです。また、どんな年齢にも関わらず、『あいさつ』『笑顔』は欠かさないそうです。

### 健康と安全が第一！

子供と関わる上で一番気をつけていることは、やはり『健康』と『安全』なのだそうです。たくさん先生方と協力・連携して子供達が毎日怪我なく元気に活動し降園できるように心がけているそうです。そんな大切な命を預かる重要な役割である保育教諭になぜ高橋先生はなるうと思っただけなのでしょう。

### 保育教諭になった理由とは一体…？

高橋先生はもと子供と関わる職業に就きたいと思い、この保育教諭という職業を選ばれたそうです。高橋先生は、「子供達の成長が嬉しくいつも楽しく仕事をしています」と笑顔を見せていました。



園長の高橋かつ子先生

### 編集後記

今回のインタビューで、先生方がどのような思いで仕事をしているのかということを知ることができました。私たちに身近な職業だからこそ、今まで疑問に思っていたことなどもたくさん教えていただき、すごくいい時間だったなと思います。また、こんなに親切な先生方のもとで育ったことが、改めてとても嬉しく思いました。

### おまけ

私たちの暁の星こども園での思い出

毎年恒例の遠足。この年はみえこどもの城に行きました！

←遠足の様子



→マーチングの様子



毎年、年長さんになると、市の祭りでマーチングを披露しています！

# 六十八期ヨゼフ新聞

十八班

私たちは七月二十六日に、上野病院の看護師の速水聖人さんと橋本千星さん、医師の法山大造先生にお話を伺いました。上野病院は精神科の病院で、主に認知症やうつ病などの精神病を患った患者さんが通院・入院できます。患者さんは最大で三百九十六名入院できます。この病院でデイケアを利用している患者さんは平均で約二百二十名います。



## 精神科医になろうと思ったきっかけ

看護師の速水さんと医師の法山先生はシンプルに「人と接したり、相談に乗ったりしたい」という思いからで、看護師の橋本さんは、子供の頃から看護師に憧れていて生活も安定するため、この職業に就いたと言います。

## 患者さんとの関わり方

「患者さんと接する時に気をつけていること」  
法山先生は、安易に「分かった」と言わないようにしているそうです。なぜなら、相手の気持ちは分からないにもかかわらず、「分かった」と言ってしまうと相手に失礼になってしまうし、病状も悪化してしまふからです。そういう時は「たぶんこうなんだろう」と想像を働かせて、適切な治療法を見つけていきます。

正門↓



看護師の橋本さんは、患者さんの気持ちや言葉を否定しないことだそう。まずは患者さんの気持ちを受け止め、安心してもらおうことが大切だと言います。また、患者さんには無理に話しかけず、患者さん本人が話を聞いてほしいという時に話しかけに行くように心がけているそうです。認知症の症状の重い方だと暴力を振るってしまったり暴言を吐いてしまう患者さんもいるため、自衛のために距離を置くことも大切であると話していました。

看護師の速水さんは、「頑張れ」と言わないようにしているそうです。患者さんは自分なりに頑張っているのに「頑張れ」と言われると、不快な思いをしてしまうからです。そういう時は、「よく頑張ってますか？」と提案を少しずつ出していき、その人のペースに合わせて治療していきます。

## 認知症やうつ病などを患っている人と接していて、自分が辛くなることはあるか

医師の法山先生は、よくあるそうです。しかし、自分自身を守れないと患者さんも守れないので、ある程度の距離を保つように毎日心がけているとのこと。

## コミュニケーションについて

看護師の速水さんは、患者さんと話す時にはあまりコミュニケーションをとるからという目で見えてしまふと相手をしてしまふと見えてしまふ、壁を作りがちになってしまふと言います。話してみれば特に違いはなく、障害の有無は関係ないのだと気づくことが大切です。同じ目線で挨拶から始め、なるべく壁を作らないようにするのがコツだそうです。

## 編集後記

私たちは、風邪や怪我とは違う、目に見えない心の病気を抱えた人たちが通う精神病院に興味を持ちました。例えば、「心の病気を抱えた人をどのように治療するのか」、「どのような気持ちで精神科に勤めているのか」など。  
インタビューを終えて、患者さんに関わることで自分も辛くなったりすることもあったと聞いて精神科は私たちが思っていた以上に大変で大切な職業だと知りました。記事のためのインタビューだけでなく、私たちが聞いてみたかったこともたくさん聞けて、とても良い経験になりました。

↓ 病棟

